

クイックガイド

初版

燃料 無鉛レギュラーガソリン



安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に
本ガイドと WEB 取扱説明書を必ずお読みください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

詳細は
WEB 取説を
ご覧ください



ハイガー株式会社はSDGs・カーボンニュートラルの取組の一環として、紙の取扱説明書を大幅に削減いたしました。
どうぞご理解ください。



安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を見逃して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重症を負う恐れがある」内容です。



注意

この表示の欄は、「軽症、物的損害、故障が生じる恐れがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告（製品に係る安全事項）



禁止

燃料の臭いがする場合、運転しないでください。爆発の危険があります。

エンジンの排気ガスは吸い込まないでください。人体に有害な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。

エンジンが熱いうちは、給油しないでください。

燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。

運転時、給油時は、喫煙など火気を発生させないでください。

換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。

回転している部分の近くに手または足を入れないでください。

エンジンの運転中や運転停止直後はエンジン本体やマフラー部が熱くなっていますので、手・身体などを触れないでください。火傷をする恐れがあります。



強制

本機を密閉された場所に燃料を入れたまま放置しないでください。燃料が蒸発し、爆発の危険があります。

自動車で運搬するときは、燃料タンクの燃料を抜いてください。振動等により燃料が漏れることがあります。

給油は、必ずエンジンを停止し十分冷えた後に行ってください。また、付近にタバコ等の火気が無いことを確認してください。燃料は非常に引火しやすく、気化すると爆発の危険があります。

給油中にこぼれた燃料はきれいに拭きとってください。燃料を拭いた布等は、火災に注意して処分してください。

燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えてください。衣服へ引火する危険があります。

給油は、換気の良い所で行ってください。燃料の蒸気が蓄積し火災の恐れがあります。

給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。静電気の火花によって引火の恐れがあります。

給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。

⚠警告（製品に係る安全事項）

 禁止	改造、分解は絶対に行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。	 強制	燃料タンクキャップは確実に締めてください。運転中にこぼれると火災の恐れがあります。
	指定された用途以外には使用しないでください。		運転前に燃料漏れがないか点検・確認してください。火災の恐れがあります。
	正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。		点火源となるような機器の近くに保管しないでください。燃料の蒸気へ引火する恐れがあります。
	未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。		運転中に高圧コードや点火プラグキャップに触れないでください。感電する恐れがあります。
	操作の仕方がよく分からない成年者の独自の使用はご遠慮ください。		使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
	使用中は、点火プラグキャップ部や高圧コードに触れないでください。		ご使用前にこの説明書をお読みにになり取扱の注意事項をよくご理解の上ご使用ください。
	運転中に回転部及び可動部に手や足及び衣類を絶対に近付けしないでください。触れると巻き込まれ重大な事故の恐れがあります。		
	周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。		

⚠注意（製品に係る安全事項）

 禁止	本機はブレードの回転により、コンクリート打設後の硬化途中のコンクリートを平滑に仕上げることを目的とした機械です。	 強制	燃料はレギュラーガソリンを使ってください。
			長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
			給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
			部品交換は、純正部品を使用してください。
			本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。
			定期点検整備を行ってください。
			子供の手の届かない安全な場所に保管してください。

⚠警告（作業に係る安全事項）

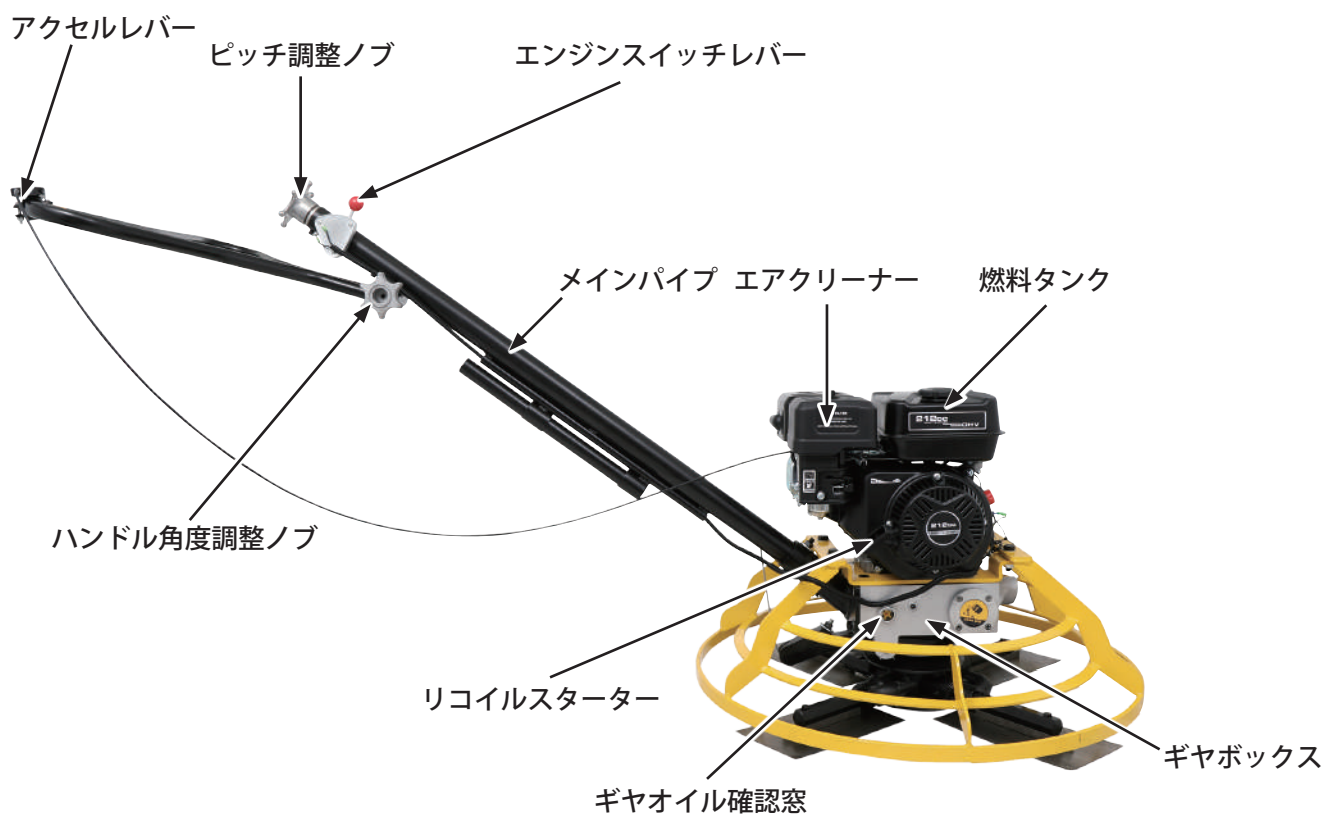
 禁止	身体の調子が悪い時、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。	 強制	適切な間隔で、休憩をとってください。
	ご使用時は、人や動物が近づかないようにしてください。		本機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。
	夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。		危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンを完全に補修してから再始動してください。
	足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。		持ち運ぶときは、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜取ってください。
	異常があった場合には、完全に補修してから再始動してください。		作業中は、回転部分に足を近づけないよう十分ご注意ください。ブレードに足が当たり、大怪我をする恐れがあります。
	燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。		
	室内、トンネル内、深い溝内など換気の悪い場所では使用しないでください。		
	火気の近くで運転をしないでください。 エンジンをかけたまま本機から離れないでください。		

⚠注意（作業に係る安全事項）

 禁止	機械の稼働部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。	 強制	長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。
	エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。		長い髪は束ねて帽子、ヘルメットでカバーしてください。
			シートカバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。
			毎回作業前に各部のネジ等の締付け具合を点検してください。振動でネジ等が緩み、思わぬ事故の原因になります。
			定期点検整備を行ってください。
			常に足場に注意し、本機のバランスを保てる無理のない安定した姿勢で作業を行ってください。
			本機を長時間保管するときは、取扱説明書にしたがって保管してください。

各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。



梱包部品一覧

- 1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
- 2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
- 3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

⚠警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を手に入るまで使用しないでください。

A. 本体

B. ハンドル

C. プラグレンチ★

D. エアフィルタ（予備）★

E. ベルト（予備）★

F. ブローバイホース（予備）★

G. メインパイプ

※製造時期により仕様変更になる場合や部品が本体に取付済みの場合があります。
★サービス品です。予告なく終了する場合があります。

主要諸元

モデル名	HG-S80
エンジン型式	DUCAR212 4 ストロークエンジン
排気量	212cm ³
馬力	6.5 馬力
パワー	4.8kW
回転直径	730mm
ブレードサイズ	265 × 150mm
ブレード厚み	2.4mm
ブレード数量	4 枚
ブレード回転数	60-125min ⁻¹ (rpm)
調整可能な角度	0-15°
燃料	無鉛レギュラーガソリン

燃料タンク容量	3.6L
起動方式	リコイルスターター方式
エンジンオイル	SAE10W-30
エンジンオイル容量	0.6L
ギヤオイル	SAE140
ギヤオイル容量	0.85L
互換点火プラグ	BPR7ES(NGK)
寸法 (幅×奥行×高さ)	800 × 1840 × 1045mm
折りたたみ時寸法 (幅×奥行×高さ)	800 × 1560 × 1045mm
本体重量	75kg

◎弊社は、顧客満足度100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

組立て

⚠警告

- ・組立ては平坦な場所で行ってください。不安定な場所で行くと本機が倒れ、けがにつながる恐れがあります。
- ・組立て作業中は、子供やペットが近づかないよう配慮をお願いします。
- ・組立後は、すべての部品が確実に取付けられていることを確認してください。

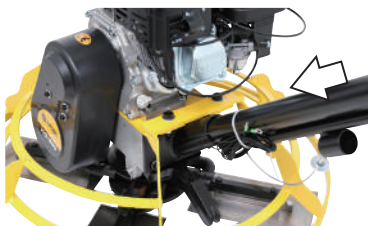
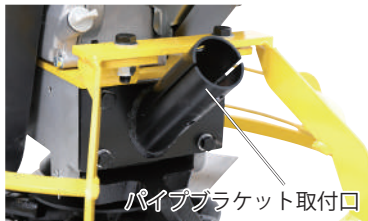
メインパイプの取付け

本体にメインパイプを取付けます。
■使用工具：16mm スパナ 1本

- 1
- メインパイプに仮留めしているボルト、ナット、ワッシャを一旦取外します。



- 2** 本体のパイプブラケット取付口にメインパイプを、奥まで一旦挿入します。



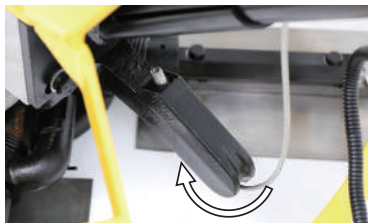
- 3** ピッチ調整ノブを反時計回りに止まる所まで回します。



- 4** ピッチアジャスタワイヤに仮留めしているナット、ワッシャを一旦取外します。



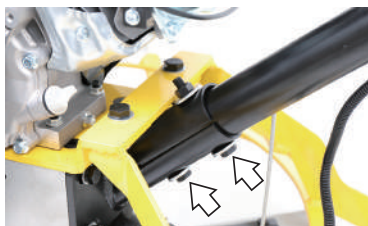
- 5** ピッチアジャスタの穴に下からピッチアジャスタワイヤの先端(ボルト部)を通します。



- 6** ピッチアジャスタワイヤの先端(ボルト部)にワッシャ、ナットを仮留めします。



- 7** 奥まで挿込んだメインパイプを引出し、取付穴を合わせます。

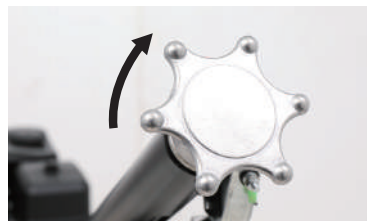


- 8** ボルトにワッシャを通し、下から取付穴に挿込み、上からワッシャ、ナットを取付け締付けます。

- 9** ピッチアジャスタワイヤの先端(ネジ部)に仮留めしたナットを締付けます。この時、ピッチアジャスタの溝にワイヤが沿うようにします。ボルトが約 10mm 出るくらいまで締付けます。



- 10** ピッチ調整ノブを時計回りに回し、ピッチアジャスタワイヤが引っ張られ、ブレードの角度が変わるか確認します。



ハンドルの取付け

メインパイプにハンドルを取付けます。

■使用工具：16mm スパナ

- 1** メインパイプのハンドル調整ノブを回し、ノブ、ハンドル調整ボルト、ワッシャを一旦取外します。



- 2** メインパイプのハンドル取付穴とハンドルの穴を合わせ、ワッシャを通したボルトを穴に通します。反対側からハンドル調整ノブを取付けます。



- 3** ハンドルの高さを決め、ボルトを 16mm のスパナやめがねレンチ等で固定しながら、ハンドル調整ノブ回しハンドルを固定します。



- 4** ハンドル調整ノブを緩めることで、ハンドルの高さを調整することができます。



- 5** ハンドルを折りたたむ場合は、写真の位置にします。

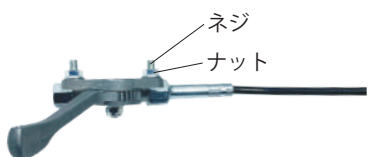


アクセルレバーの取付け

ハンドルにアクセルレバーを取付けます。

■使用工具：10mm スパナ、プラスドライバー

- 1** アクセルレバーステーに仮留めしているネジ、ナットを一旦取外します。



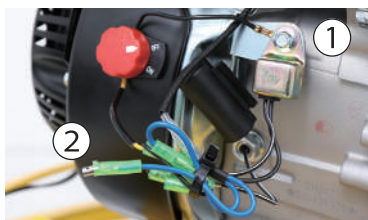
- 2** ハンドルの右側に取付け、ネジ、ナットを締付けます。



配線

メインパイプから伸びているコードとエンジン側のコードを接続します。

■使用工具：10mm スパナ



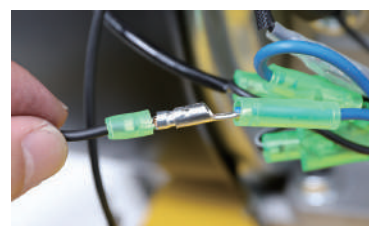
- 1** ①のボルトを 10mm のスパナで一旦取外し、コード①の丸形端子をボルトに通します。



- 2** 同じ位置に取付け、ボルトを締付けます。



- 3** ギボシ端子のオス②とメス②をしっかりと挿込み、緑のチューブをかぶせます。



運転前の点検

警告



禁止

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時は、喫煙など火気を発生させないでください。



強制

- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。

注意



強制

- ・燃料給油キャップは確実に締めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。

燃料の点検・補充

使用燃料	無鉛レギュラーガソリン
タンク容量	3.6L

燃料の量を点検します。

出荷時に入っていない。必ず給油してください。また長期間使用しないときは必ずガソリンを抜いてください。

- 1** 燃料タンクキャップを外します。



- 2** 液面を見て残量を確認します。



- 3** 少ないときは、無鉛ガソリンを少しずつこぼさないように、上限(赤い目印)の位置まで給油します。

- 4** 給油が終わったら、燃料タンクキャップをしっかりと締めます。

エンジンオイルの給油

エンジンオイルは出荷時には入っていない。

必ず給油してください。また、工場で試運転をしているため、若干オイルが残っている場合があります。給油の際は、オイルゲージで確認してください。

推奨オイル	4 ストロークガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30
オイル容量	0.6L

- 1** 本機は汎用エンジンを使用しているため、オイル給油口が2カ所あります。どちらを使用しても同じですが、片側のキャップにはオイルゲージは付いていません。



- 2** 本体を水平な場所に移動させ、オイル給油キャップを外し、オイルゲージに付着したオイルを布などで拭取ります。



- 3** オイル給油キャップを取付け一旦締付け、再度外します。

⚠注意

- エンジンオイルを規定量以上に給油しないでください。エンジン不調になる恐れがあります。
- こぼれたエンジンオイルは必ず拭き取ってください。
- 必ず給油してください。また長期間使用しないときは必ずエンジンオイルを抜いてください。

- 4** オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(中央)まであるか点検します。



- 5** オイル量が少ない時は、新しいオイルを補給します。

- 6** 給油が終わったらオイル給油キャップをしっかりと締めます。

エアクリーナーの点検

エアフィルタの汚れを点検し、汚れている場合は清掃を行ってください。

- 1** エアクリーナーカバーのノブを外し、カバーを外します。



- 2** エアフィルタが汚れていればエアブロー等で吹き飛ばします。汚れがひどい場合は、エアフィルタの交換が必要になります。

ベルトの点検

ベルトに亀裂、磨耗、損傷がないか確認します。

⚠警告

- エンジンは絶対にかけないでください。重大な事故に繋がります。
- ベルトに亀裂、磨耗、損傷がある場合は、ベルトの交換が必要です。

- 1** ベルトカバーを止めている4カ所の六角ボルトを外し、ベルトカバーを取外します。





2 ベルトを目視で確認します。※クラッチは自動調整式(パテント)になっているためベルトの張り調整は不要です。

3 ベルトがスリップし始めたら、クラッチの動作に異常がないことを確認し、ベルトの交換を行います。

ピッチ (角度) 調整ノブの固定

振動によりピッチ調整ノブが動く場合があります。角度の調整ができれば、必ず六角ボルトを締付けて固定します。



各部のネジやボルトの緩み点検

各部のネジやボルトに緩みがないか、毎回確認してください。

緩んでいる場合は、増し締めをしてください。怠ると思わぬ事故、故障につながる恐れがあります。

運転操作の仕方

警告

 禁止	・振動障害の予防策として長時間の連続使用はしないでください。 ・燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。 ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。 ・エンジン作動中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。やけどすることがありますので高温部に触れないでください。
 強制	・平坦な場所で作業を行ってください。 ・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。 ・本機から離れるときは必ずエンジンを停止してください。 ・少しの移動でもエンジンを停止してください。

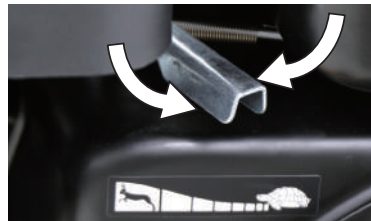
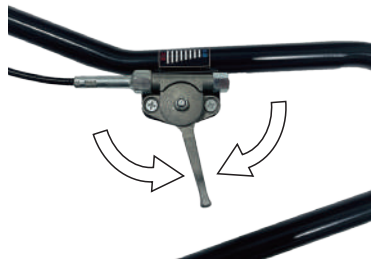
注意

エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

エンジンのかけ方

- ☒ レギュラーガソリンを入れましたか？
- ☒ エンジンオイルを入れましたか？
- ☒ エアフィルタの汚れを確認しましたか？

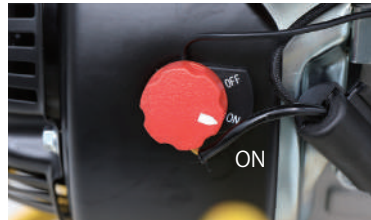
1 アクセルレバーを、「高速側」と「低速側」の中間にします。エンジン側のアクセルレバーでも操作が可能です。その場合は、「うさぎマーク」と「かめマーク」の中間にします。



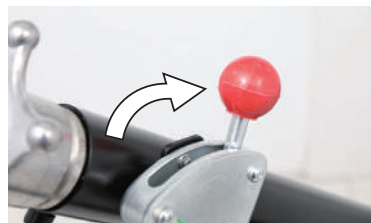
2 ガソリンコックを右いっぱい「ON」にします。



3 エンジンスイッチを「ON」にします。



4 手元のスイッチレバーを奥に倒します。



■エンジンが冷えている時のかけ方

外気温には関係なく、エンジンそのものが冷えている場合です。翌日の再始動などがこれに当たります。

- 1 チョークつまみを左いっぱい「閉」にします。



※運転停止直後の再始動をする場合には、チョークレバーを「全開」にします。

- 2 本機をしっかり保持し、リコイルスターターロープを引きます。



※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから素早く引きます。おおよそ60～70cm引いてください。(ロープは一杯に引ききらないでください。) 引きが少ないとエンジンはかかりません。

⚠注意

何度もチョークを閉じたままリコイルスターターロープを引くと、点火プラグを濡らしてしまいます。万が一、濡らしてしまった場合は、web 取説「困ったときの対処法 (点火プラグの点検)」をご覧ください。

👉 リコイルの引き方ポイント

① ※写真は別機種



- ① 良い例：約 70cm 引いている。
- ② 良い例：穴に対してロープが真っ直ぐ。
- ③ 悪い例：抵抗がありエンジンがかかりにくく、ロープが摩擦で切れます。

- 3 エンジンがかかったらすぐチョークレバーを「開」にします。



- 4 エンジンが始動したら1～2分程度アクセルレバーを「低速側」にし、暖気運転をします。

- 5 この時、ブレードが回転したり、エンジンが止まりそうなら、エンジンを一旦止め、アイドルリングの調整を行います。

- 6 アクセルレバーをアイドルリング「低速側」から運転「高速側」にすると、ブレードが回転を始めます。



⚠注意

- ・アクセルレバーの操作をゆっくり行くと半クラッチ状態が続き、クラッチが破損する恐れがあります。また、乱振動を起こしますのでアクセルレバーは素早く動かしてください。
- ・作業を中断する時は、その都度アクセルレバーを「低速側 (かめマーク側)」にしてください。

⚠注意

作業中は、ブレードに足を近づけたり、ガードリングに足を乗せたりしないでください。足を挟まれ大変危険です。

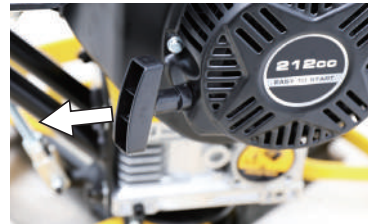
■エンジンが温まっている時のかけ方

※外気温には関係なく、エンジンそのものが温まっている場合です。再始動などがこれに該当します。

- 1 チョークレバーを「開」にします。



- 2 本機をしっかり保持し、リコイルスターターロープを引きます。



※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから素早く引きます。おおよそ60～70cm引いてください。(ロープは一杯に引ききらないでください。) 引きが少ないとエンジンはかかりません。

⚠注意

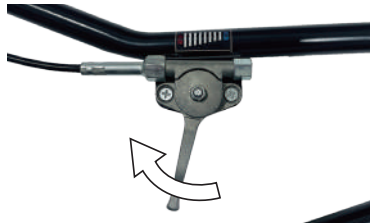
- ・ロープを最後まで引き切らないでください。
- ・一度に6回以上は引張らないでください。
- ・引いたりコイルスターターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。

3 エンジンがかからない場合は、運転操作の仕方の「■エンジンが冷えている時のかけ方」を行ってください。

4 エンジンが始動したら1～2分程度暖気運転をします。

5 エンジンが止まりそうなら、エンジンを一旦止め、アイドリングの調整を行います。

6 アクセルレバーをアイドリング「低速側」から運転「高速側」にすると、ブレードが回転を始めます。



⚠注意

- ・アクセルレバーの操作をゆっくり行くと半クラッチ状態が続き、クラッチが破損する恐れがあります。また、乱振動を起こしますのでアクセルレバーは素早く動かしてください。
- ・作業を中断する時は、その都度アクセルレバーを「低速側（かめマーク側）」にしてください。

⚠警告

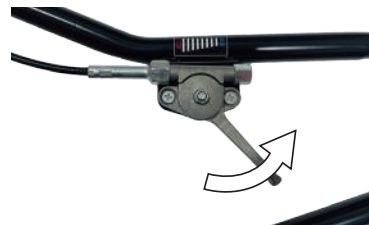
作業中は、ブレードに足を近づけたり、ガードリングに足を乗せたりしないでください。足を挟まれ大変危険です。

エンジンがかからない時

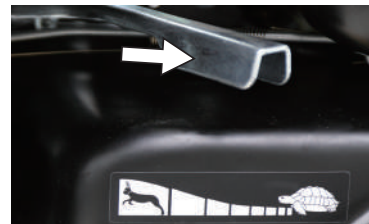
- ☒ レギュラーガソリンを使用していない。又は古い燃料を使用している可能性があります。
- ☒ チョークレバーを「閉」にしていない。
- ☒ エアフィルタが汚れている。
- ☒ リコイルの引き方が正しくない。
- ☒ 燃料過多により、点火プラグを濡らしてしまっている。

エンジンの止め方

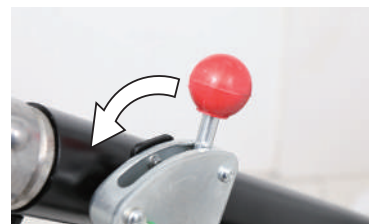
1 アクセルレバーを「低速側（かめマーク側）」にし、エンジンを低速運転にします。



2 手元のスイッチレバーを手前に倒します。



3 エンジンスイッチを「OFF」にします。

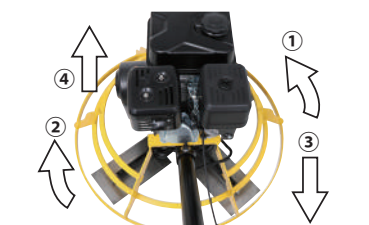
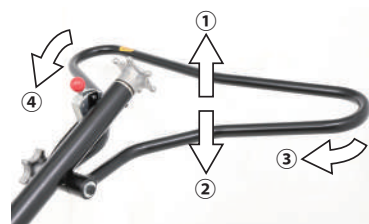


⚠注意

エンジン停止後しばらくは、エンジン、マフラ等の高温部に触らないでください。やけどの恐れがあります。

本体のコントロール

操作はハンドルの力の入れ具合で、左右、前後進が可能です。



1 ハンドルを少し持ち上げ気味①にすると、左に動きます。

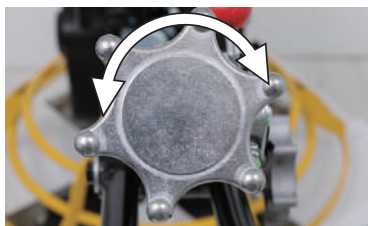
2 ハンドルを少し押し下げる②と、右に動きます。

3 ハンドルを少し左に押し気味のする③と後進します。

4 ハンドルを少し右に押し気味のする④と前進します。

ブレードピッチ（角度）の調整

作業工程によりブレードのピッチ（角度）の調整を行います。



1 ピッチ調整ノブを時計回り（右回り）に回すと、ブレードと地面の角度が大きくなります。

2 調整が終わったら、六角ボルトを締付けます。

⚠️ 注意

振動によりピッチ調整ノブが動く場合があります。適宜六角ボルトを締付けてください。

移動について

本機を移動する時は、4人以上で行ってください。

1 メインパイプに収納している移動用パイプを取外し、移動用パイプ挿入口に挿入します。



2 1人がメインパイプを持ち、1人が移動用パイプを持ち、両サイドのガードリングを2人が持って移動してください。



※詳細はWEB取説をご覧ください。

保証内容について

本規約は、ハイガー（以下「弊社」とする）を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。

弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。

返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がありますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日（ご来店引取の場合ご来店日）から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。

保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。

商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。（以下、この無料修理を「保証修理」とする）往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。

・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。

・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。

・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

（1）純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合

（2）保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合

（3）一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合

（4）取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合

（5）示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合

（6）弊社が認めていない改造をされたもの

（7）地震、台風、水害等の天災により生じたもの

（8）注意を怠った結果に起きたもの

（9）薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの

（10）使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象（退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等）

（11）機能に影響のない感覚的な現象（音、振動、オイルのにじみ等）

（12）弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品

（13）使用することで消耗する部品または劣化する部品（ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、パネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等）

（14）保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等

（15）商品を使用できなかったことによる損失の補填（休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等）

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡をください。

またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。

症状・使用状況を伺いし、お手続方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。

・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。

・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。

・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。

・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。

・無在庫転売（送り先が毎回違う購入者）の場合、転売より購入した商品の場合、保証は無効となります。

また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

■アフターサービスについて■

1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。

2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。

3. 保証期間（1年間）を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。

4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。

5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。